

平成 29 年 4 月採用の求人始まる

7 月 1 日から、平成 29 年 4 月採用の求人が始まり、進路指導室には連日、様々な企業の方が求人票を持っていらっ
しゃっています。今回は、企業の皆様からお聞きした話などを元に、企業の方々が生徒の皆さんに求めるものを紹介し
たいと思います。

◇求められるものは「仕事に対する興味と関心」

多くの企業の方のお話から聞かれることとして、「仕事に必要な専門的な技術や資格は、入社後、必要に応じて支援
をしながら取得してもらい、それよりも大切なのは仕事に対して興味と関心を持つこと」、ということがあげられます。
仕事に対する興味や関心があるからこそ、仕事にも意欲的に取り組むことができ、その後のスキルアップも期待できる、
とのことでした。自分と職業のミスマッチを起こさないためにも、興味や関心の持てる仕事をしっかりと探してほしいと思
います。

◇協調性と基本的なコミュニケーション能力は、どの仕事でも必須！

仕事というのは一人だけするものではありません。組織やチームで行うものです。そこで必要とされるのが「協調性」
と「基本的なコミュニケーション能力」です。組織やチームの目標を理解し、その目標に向かって他の人と協力して作業
を進めることのできる協調性を身につけることや、きちんと挨拶ができる、人の話をしっかりと聞くことができる、自分の
考えをわかりやすく人に説明することができる、などの基本的なコミュニケーション能力を身につけることが求められて
います。たとえば…

- いつも元気な笑顔で人と接していますか？
- 人の話を素直に聞いていますか？
- 規則正しい生活ができていますか？
- 任されたことは途中で投げ出さず最後までやり通していますか？
- 人を喜ばせる、人から感謝されることを楽しく、うれしいと感じていますか？

特別な技術や知識、努力を必要とすることはありませんが、普段から意識しないと身につかないことばかりです。この
ような力を身につけるためには、**普段の生活から意識して他の人と関わる**ことが必要です。

◇部活動はしっかりと 3 年間続けよう！

企業は、長期的に人材を育て、利益を上げていきます。そのため、長く仕事を続ける人を採用したいと考えています。
そこで参考にするのが部活動です。自分の考えで自主的に選んだことに責任を持って取り組み、最後までやり遂げるこ
とができるかどうかと、部活動を 3 年間続けることとは結びついているのです。

◇興味関心を広げよう！

進路指導室には、様々な企業からの求人票が置いてあります。中には企業名をみただけでは、仕事の内容を想像し
にくい企業もあります。自分の知っている業種や会社だけではなく、知らない業種や企業の求人票を見て、興味関心の
範囲や職業選択の範囲を広げておくことも大切です。

◇応募前には職場見学を！

就職というのは、その後の人生に大きく影響を与えるものの一つです。しかし、求人票やパンフレット、インターネットの情報だけでは仕事の内容や職場の様子を十分に把握することはできません。企業としても、職場を理解し、その上で長く働いてくれる人を求めています。

企業の方とのお話しの中で、応募前職場見学について必ず確認するのですが、どの企業の方も「応募前の職場見学は、ぜひともしてほしい」とおっしゃいます。企業としても、どういう職場で働くのかを見て、自分に合うか合わないかをしっかりと考えた上で応募してほしい、と思っているのです。ですから、応募前には必ず事前に職場を見て、仕事の内容や様子をしっかりと把握し、わからないことは質問し、自分の考えで就職先を選ぶことができるようにしましょう。

オープンキャンパスに行こう！

進学を考える場合、どのようにして学校を選ぶか、ということが大きな問題になります。各学校についての情報は、各学校が発行している学校案内のパンフレットや学校が開設しているホームページから手に入れることができます。ですが、このような情報だけでは、どこもそれほど差がないように見え、学校を選択する参考になりにくい場合も少なくありません。そこで、各学校が行っているオープンキャンパスを積極的に利用することを勧めます。

◇百聞は一見に如かず！

自分の行きたい学校についていろいろな方法で情報を集めることはもちろん重要なことです。しかし、学校がどこにあるのか、校内の施設や設備はどのようなものがあるのか、学生はどのように利用しているのか、といった具体的なことは、パンフレットやホームページの情報だけではなかなかわからないものです。

そこで、「百聞は一見に如かず」で、オープンキャンパスなどを利用して、一度学校に足を運ぶことを勧めます。実際に訪れて、自分の目で見て、自分の手で触って、初めてわかることはたくさんあります。

また、受験の仕方や授業料や必要な諸経費など、要項などを見ただけではわかりにくいことも、オープンキャンパスに出向いて説明してもらうことで、きちんと理解することができるようになります。

◇学校を知るとともに学校に知ってもらおう！

オープンキャンパスでは、学校の具体的な様子を知ること大切ですが、同時に進学したいと思う学校の人に自分を知ってもらうことができます。また、受験の方法が多くある中で、どの方法が自分に向いているかを相談することなどもできます。

また、オープンキャンパスを主催している学校は、「オープンキャンパスに来たということは、この学校に興味を持っている、この学校に進学したいという希望も持っているだろう」と好意的な受け止め方をすることが少なくありません。学校としては強い興味関心を持ち、積極的に学ぶ学生がほしいわけですから、オープンキャンパスに参加した高校生を、自分の学校にふさわしいかどうか、期待を込めて見ている、ということも考えられます。

ですから、強く進学を望んでいる学校であれば、積極的に説明を受けたり質問したりして、自分がこの学校への進学を強く望んでいることを学校側にアピールするためにもオープンキャンパスに出かけることを勧めます。